



市民の安全・安心を守る

芦屋の消防と救急

問い合わせ 消防本部消防署 ☎32-2345

CASE 01

「もしも」はいつでもすぐそこに

火災発生！ その時どうする？



11月9日は「消防の日」 空気が乾燥し、火災が起きやすい季節です。いざという時に、自分の命・大切な人の命を守る方法を身につけましょう。

おしえてくれる人 消防本部消防署 小松祐介

もしも火災現場に居合わせたら、火災が発生した場合は、身の安全を考えながら、あわてず落ち着いて下記の通り行動してください。

POINT 01

火事を知らせる



「火事だー！」と大きな声で叫ぶ。非常ベルを鳴らすなど周りの人に火事が起こったことを知らせる。119番に通報する。



119番のかけ方(火災の場合)

- ▶ 火災であることを伝える
- ▶ 災害現場の場所(住所)
- ▶ 何が燃えているか
- ▶ けが人や逃げ遅れている人がいるか
- ▶ かけている電話番号と通報者の名前

POINT 02

初期消火

初期消火とは、出火後1～2分の消火行為のことです。火災の被害を最小限に抑えるため、火が小さいうちは消火を試みましょう。初期消火には、消火器が最も効果的です。



消火器

【消火器の使い方】

- ①黄色の安全ピンを抜く。
- ②ホースを外し、先端を持って火元へ向ける。消火薬剤の有効な射程距離は3～5mです。
- ③レバーを強く握り、火の根本を狙い、手前からほうきで掃くように薬剤を放射します。



黄色の安全ピン

消火器の噴射時間は10～15秒程度です。天井に届くほどの火は消すことができません。消火を諦めてすぐに避難してください。



火元から3～5m

POINT 03

避難する

天井に火が燃え移ったら、速やかに避難します。不慣れな場所の時は、誘導灯を頼りに避難します。

火事で一番怖いのは煙です。ひと吸いで意識を失うこともあります。姿勢を低くする、ハンカチなどで口を覆うなど煙を吸わないようにしましょう。



誘導灯



秋季全国火災予防運動実施中

11月9日～15日は秋季全国火災予防運動です。隣近所の協力体制をつくり、地域の防火安全体制を充実させましょう。



問い合わせ 消防本部予防課 ☎32-2345